



ご挨拶

理事長 野村 恭也



新型コロナは未だ収束しませんが、季節は着実に変わり青葉若葉の候となりました。皆さまにはご健勝のことと存じます。また平素より SPIO に対する暖かいご支援に御礼を申し上げます。

コロナ禍は SPIO にも大きな影響を与えました。学会助成のもととなる募金は著しく減少いたしました。国内外の留学生の減少、取りやめ等過去に経験したことのないほどの変化でございました。ご存知のように、2018年度に曾田 SPIO 研究助成金、曾田 SPIO 奨学金の制度が発足いたしました。前者は外国人留学生に対する、後者は日本人留学生に対する手厚い奨学金の助成が行えるようになりましたが新型コロナ pandemic の影響で十分な活用が出来ませんでした。

このような中で、この度 SPIO は新しい医学教育事業助成を始めることになりました。この事業は富士フィルム富山化学株式会社のご寄附によるもので若手医師および医療関係者が最新医学・医療知識・技術等を修得し、耳鼻咽喉科および関連分野における医学の進歩と医療の質の向上を目的としたものであります。応募資格は耳鼻咽喉科及び関連分野の団体と学会です。内容につきまして SPIO と内閣府の公益認定等委員会との間で長い間繰り返し検討が行われ、この度3月10日に認定されたものです。SPIO の HP に詳細が掲載されておりますのでご覧くださいたく存じます。

2020年度の SPIO Award は久しぶりに海外の投稿者に決まりました。受賞者は韓国の Dr. Geonho Lee であります。COVID-19のため京都の日耳鼻総会・学術講演会には出席できないとのことで講演はビデオをご覧くださいたくことになりました。

SPIO が特定公益増進法人から公益財団法人に変わったのが平成24年であります。それ以来3年に1度行われる内閣府の立入検査を2度経験いたしました。2度目は昨年11月25日に行われました。検査は内閣府審査監督調査官2名によるもので SPIO 事務所において約5時間にわたるものでした。事業が公益法人として適正に行われているか、前回の立入検査で指摘されたことが修正されているか、会計監査の他、理事、評議員の出席状況、議事録、選考委員会の規約、助成後の報告書、旅費、等々細部にわたり検査を受けました。1度目より2度目の立入検査の方がより細部に及んでいたと感じました。その結果から SPIO は適正に運営されているものと思っております。

SPIO は2019年11月28日に発足以来50年の節目を迎えました。時節柄今の所行事は考えておりませんが SPIO40年史以後の10年分を SPIO50年史として製作中であります。

助成財団である SPIO は賛助費並びに寄附金によって運営されております。申込用紙は SPIO の HP に載っておりますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

コストコSPIO研究助成金

今年度も、国際的に有意義な研究に対する助成として、以下の3件の研究に対して、各々100万円を助成した。

- (1) 聴覚と平衡機能の相互作用の研究 (東邦大学医療センター佐倉病院耳鼻咽喉科 鈴木 光也)
- (2) 画像診断を駆使した難聴診断技術の研究 (名古屋大学耳鼻咽喉科 曾根 三千彦)
- (3) 聴覚情報処理障害の診断と治療 (国際医療福祉大学言語聴覚学科 小淵 千絵)

令和2年度事業報告

- 1 留学生(0名)への研究助成
- 2 若手日本人(4名)への助成
- 3 国際的に有意義な研究への助成(3件)
- 4 SPIO Award の表彰
- 5 国際学術会議等開催助成(4件)
- 6 寄附金募集助成(42件)
- 7 その他(ホームページ、ニュースレター他)

令和2年度事業報告及び収支決算報告

6月開催の評議員会終了後に、ホームページを更新致しますのでご覧ください。http://www.spio.or.jp

SPIOクラブ

第122回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会の会期中、大森 孝一 会長のご好意により会場内に SPIO クラブを設け、SPIO の助成活動のご案内及び賛助員の申し込み受付を行います。皆様が自由に懇談いただける場、情報交換の場として、是非お立ち寄りください。

令和3年5月13日(木)・5月14日(金)

10:00 ~ 17:00

国立京都国際会館 5階 Room509